

1 ごみのこと、知ってる？



どこからどんなごみが出ているのかな？

1 ごみが出る場所

家庭から

新聞紙や段ボール、チラシなどの紙類

台所から出る生ごみ

使えなくなった家具や電気器具

お菓子の袋やシャンプーボトルなどのプラスチック

店や会社などから

生ごみ
空きびん・空きかん

紙

鉄くず・コンクリート
レンガ・かわら
プラスチック

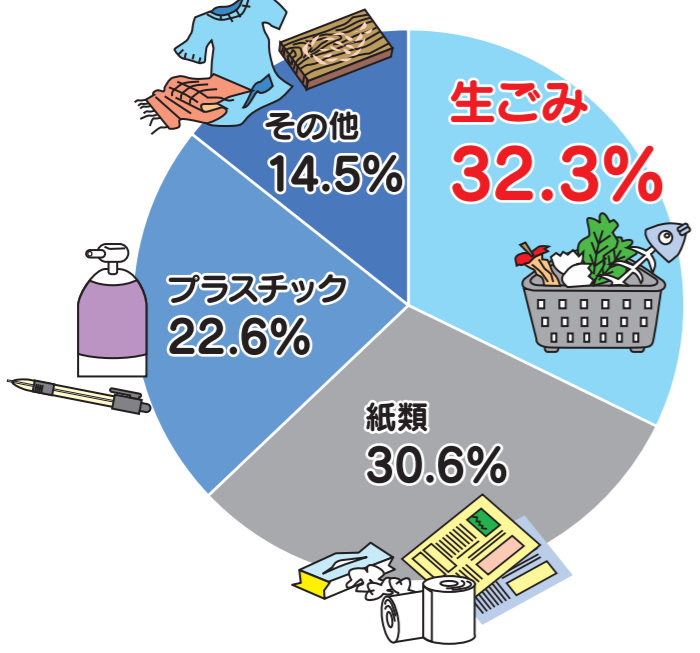
学校から

工作の切りくず

そうじで集めたごみ

給食の調理から出る生ごみ

福岡市の家庭から出るもえるごみの中身 (令和3年度)



生ごみ、紙類、プラスチックが多いんだね。1日にどのくらいのごみが出ているのかな？



ごみ収集の歴史

ごみは、福岡市が誕生する前から、一般の人たちが定期的に集めていました。その後、まちが不衛生にならないようきまりをつくり、福岡市が責任を持ってごみを集めて処理するようになりました。当時は、馬車を使って早朝に集めていましたが、車が普及して、夜中でも作業が可能となったこと、また、ごみや車が増え、時間がかかるようになったため、より早い時間から集めるようになり、現在のように夜中に集めるようになったのです。



ねらい 解説

- ★私たちの毎日のくらしの様々な場面で、いろいろな種類のごみが出ていることや、リサイクルできるものも含まれていることに気付かせてください。
- 福岡市の家庭から出る燃えるごみの中では生ごみが最も多く、燃えるごみの30%以上を占めています。その他には、紙類が約30%、プラスチック類が約20%で、この3つで全体の85%以上を占めています。
- 夜間収集については、8ページにも書いてあります。